

おもてなし向上セミナー

(2月18日)

～神戸を知ることがおもてなしへの第一歩～

三宮、元町など都心地区の若手商業者らによる神戸都心商業青年協議会(会長:下村治生元町三丁目商店街(振)副理事長)では、商業者が心からのおもてなしを表し、神戸のホスピタリティマインドを高めていく「神戸コンシェルジュ運動」の一環として、2月18日、神戸市と共催で「おもてなし向上セミナー」を開催した。

当日は、ホテルウーマンとして長い経験を有し、現在は、ぬこの手りザベーションセンター「つだきよ本舗」代表として神戸のホテル、観光施設のセールス活動を行う津田喜代子氏から「また神戸に來たい來て欲しい!～心と心をつなぐおもてなし術～」をテーマに



講演を聞いた。

講演の中で津田氏は、おもてなしへの第一歩として「一人一人が神戸の魅力をもっと知り、コンシェルジュを意識する」「神戸っ子にふさわしい品格を持つ」ことが大切と述べ、そのためにも「人生の先輩を敬い、世代を超えた交流から多くのことを学んで欲しい」と語った。

また、津田氏が会長を勤める市内ビジネスホテルと観光施設でつくる「神戸TOH(トーキングオブホテル)の会」が、石川県能登半島地震の被災者を神戸観光に無料招待した事例などを紹介し、「多くの観光客に來てもらうためには、関係者全員が協力して神戸のイメージを高めていくことが必要。街の清掃運動やエコ活動など各々ができることを考え、行動に移していくべき」と強調した。(参加者94名)

